

ものづくりは人づくり。

ものづくり技術専修の学生は、小学校教員の免許の他に、中学校技術・家庭科の技術分野の教員免許、さらには高校工業の教員免許を取ることができます。これまで多くの小学校教員、中学校技術科教員、工業高校教員を送り出してきました。近年、中学技術や高校工業の教員免許を出す大学が少なくなったために、愛知教育大学への期待が高くなっており、中学技術だけでなく高校工業の教員として採用されています。本学OBの現職教員の方々から、教育実習を充実させる内容・方法を教えてもらう授業を設定しています。そのため、教育実習の学びが充実できています。楽しく学ぶための教材の紹介や中学生段階での具体的な学び方についても、OBの現職教員の方々が授業例を教えてください。教育実習でも充実した授業が展開されています。

4年間の学び

4年間の前半では、技術ものづくりの基礎になる学びを配置しています。一つは製図であり、製図はものづくりの世界の言語にあたります。作る立体物の形を考えたり、他者に伝える場面で製図はとても重要です。工学的内容の基礎や農学的内容の基礎を1年や2年で学びます。

2年生の後期からは、技術科の授業を円滑にできるために技術科教育を学んでいきます。3年生は技術科教育に加えて、技術内容学(工学、農学)の学びを発展させていきます。その一方で、小学校免許に関わる科目をとっていくことになります。

順調に単位をとることができた4年生は、卒業研究や就職関係の学びを充実させていくことになります。



2022年1年次前期の時間割(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	情報教育入門	製図(一部集中)	初等理科教育内容A	ソフトウェアI	機械工学概論
2時限	英語I		初等図画工作科教育内容B	情報I	教育原論
3時限	初年次演習	電子工学I	この時間を使って「学校体験活動入門」の事前指導やガイダンスを行うことがあります。	スポーツI	初等家庭科教育内容A
4時限	キャリアデザインI	発達と学習の心理学		栽培実習I	初等英語科教育内容A
5時限	キャリアデザインI				

主な授業科目

- 中等技術科教育法CⅠ～CⅣ
- 木材加工法
- 木材加工実習Ⅰ・Ⅱ
- 製図
- 金属加工法Ⅰ
- 金属加工実習Ⅰ・Ⅱ
- 材料力学
- 原動機
- 機械実験
- 電気Ⅰ・電気Ⅱ
- 電気実習
- 栽培学
- 栽培実習Ⅰ・Ⅱ
- 情報Ⅰ
- プログラミング実習Ⅰ
- 基礎情報技術

取得できる免許

[卒業要件に含める免許状]

小学校教諭一種免許状
中学校教諭二種免許状(技術)

[取得を優先して薦める免許状]

中学校教諭一種免許状(技術)

[所定の科目履修で可能とする免許状]

高等学校教諭一種免許状(工業)
◎幼稚園教諭二種免許状
◎特別支援学校教諭二種免許状

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

先輩Voice



中等教育教員養成課程
技術専攻4年
岐阜県立岐阜北
高等学校出身

*学生の所属は改組前の名称です

プログラミングから金属加工まで、
学びが社会に役立っていることを実感できます。

プログラミングや栽培、木材、金属、電気など、幅広く学べますが、私が一番興味を持っているのは木材加工。モノづくりの達成感を子どもたちに味わってもらうためにどんなことができるのかを学んでいます。少人数制の学科なので学生同士のコミュニケーションも活発で、専門的な知識と技術に対する熱い思いを持つ先生方とも気軽に質問や相談ができます。将来は中学校の技術科の教師として、大学で学んだ知識を生かし、「技術」という科目を通じて「モノづくりに興味を持つ生徒」を増やしていきたいです。